

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

SEITOKU FLASH



聖徳フラッシュ

第81号

平成27年12月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28

TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
http://www.seitoku.jp/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園



新フォーマルスーツのお披露目



千産千商は今年も大人気

十一月七日(土)・八日(日)、第五十一回聖徳祭が行われました。今年度のテーマは「ひだまり〜一歩前進〜」です。このテーマには、聖徳祭が「ひだまり」のような温かさにあふれ、世代を問わず多くの来場者が集まる場にし、聖徳祭参加者・来場者一人ひとりが温かい心を持って、自分の信じる未来へ前進してほしいという願いが込められています。

当日は、各クラスによる授業の研究発表や、野外ステージ団体のパフォーマンスにより学内に音楽と笑顔があふれ、華やかになりました。地元食材を使用した千葉興業銀行とのコラボレーション企画「千産千商」では、総合文化学科の学生が「ら〜麺かすかべ」と協力し、「とくかべラーメン」を開発しました。松戸産のあじさいねぎ、矢切ね

第五十二回 聖徳祭

「ひだまり〜一歩前進〜」

INDEX	
学園	1
大学院・大学短大	2
幼児教育専門学校	3
附属女子中高	4
取手聖徳女子中高	5
小学校	6
幼稚園	7
インフォメーション	8

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新

ISO 9001
(教育の質マネジメントシステム)

ISO 14001
(環境マネジメントシステム)

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。



セレモニー参加者全員で記念撮影

九月十八日(金)、聖徳大学十号館三階に「松戸子育てカレッジ」がオープンしました。

「松戸子育てカレッジ」は、地域を志向した教育、研究、社会貢献活動を進める大学を育成・支援する目的で発足された文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)に聖徳大学短期大学部が採択された取り組み「信頼と共感でつなぐ〜ふるさと松戸づくり〜」の主体間協働の一環です。地域の子育て支援の拠点として、本学の専門的知識・施設・学生等を活かして、大学・地域・行政の連携により松戸市の子育て支援を幅広く行うことを目的としています。ここでは親子の交流促進、子育て情報の提供、

各種イベントやコンサートの企画、祖父母世代や子育てボランティア希望者に対する「子育てサポーター講座」などの活動を行います。

当日は短期大学部保育科二年生と教員の運営によるオープンセレモニーが行われ、最初は緊張した様子の学生も、日常的な授業では学べない受付や案内などの実践的なマナーを学ぶことができ、セレモニー終了時には「とても勉強になった」と感想を述べていました。

セレモニーに引き続き、学生と教員が参画する「おやこでゆるりん」がオープンしました。あいくの雨にもかかわらず、十六組の親子に参加いただき、学生企業の遊びわらべうた遊び、絵本の読み聞かせ、学生

が創作した人形劇などを親子で楽しみました。保護者の方からは、「とても楽しかった」「家で親子一緒に遊んでみます」「学生さんの笑顔が素敵でした」など、好意的な感想をいただきました。

「松戸子育てカレッジ」は、毎週金曜日(十時三十分〜十二時三十分)を中心に、松戸市の子育て支援の拠点として継続していきます。



保育者のたまごによる読み聞かせ



聖徳大学大学院入学式

本年度より大学院の「秋学期入学」がスタートし、秋期では初となる入学式が九月二十六日(土)、香順メディアホールにおいて執り行われました。

学長告辞、来賓祝辞の後、入学生八名(通信教育課程)を代表して児童学研究所の清水美恵さんが力強く宣誓を行い、「豊かな学識を養うべく日々研鑽してまいります」と学びへの意気込みを示しました。

また、同日十一時から、平成二十七年

度秋期聖徳大学大学院学位記授与式、聖徳大学卒業証書学位記授与式、聖徳大学短期大学部卒業証書学位記授与式が川並香順記念講堂にて挙行されました。

今期卒業・修了したのは、大学院七名(うち論文提出による博士の学位取得者一名)、大学百一十一名、短大二十六名、計百四十四名。川並弘純学長は、卒業は終わりではなく



卒業証書学位記授与

大学院・大学・短期大学部 平成二十七年秋期の卒業式・入学式を挙

始まりであると鼓舞激励し、「身体と心の両方の健康を保ち、豊かな人生を送ってほしい」とはなむけの言葉を贈りました。

式終了後は、学生食堂リブにて、新たな門出への祝杯があげられました。

聖徳大学オープン・アカデミー(SOA) 秋期公開講演会・演奏会を開催

聖徳大学創立二十五周年、聖徳大学短期大学部創立五十周年を記念して、十月十七日(土)、聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)の秋期公開講演会および演奏会が行われ、約六百四十名にご来場いただきました。



田村隆先生
第一部は、音楽総合学科・山本まり子先生の案内のもと、音楽学部による学生と教員によるミニコンサートを行いました。指揮は河野正幸先生、打楽器は山本真理子先生、オルガン指導では岩井孝信先生にも協力いただき、聖徳学園創立五十周年記念想園歌「青春の風は胸に鳴る」など、美しいメロディーに合わせて、学生たちの透き通る歌声と迫力ある演奏がホール全体に響き渡り、素晴らしい演奏会となりました。

第一部の講演では、「和のころ、おもてなしのころ」と題して、日本料理店「つきち田村」にて三代目料理長を務める田村隆先生にお話しいただきました。先生ご自身の失敗談を織り交ぜながら、家庭でも実践できる、いつもの料理とは一味違う調理方法について講演いただき、終始笑いの絶えない時間となりました。



ミニコンサート

学内合同企業就職説明会を開催

十月二十三日(金)、「第三回学内合同企業就職説明会 in 聖徳大学」を一号館四階メディアラウンジにて開催しました。早期に就職内定を獲得している報告が昨年度よりも増えていますが、大手・準大手を中心に厳選採用の傾向は変わらず、企業への就職を希望する学生にはまだまだ厳しい状況が続いています。そこで、まだ採用活動を行っている中堅・中小企業に目を向けて今後の就職活動を行っていくうえで、企業と学生の出会いを一つでも多く取り持つべく、合同説明会を実施しました。

企業二十社のブースと、相談ブース(株式会社ベネッセ・キーキャリア、まつど新卒応援ハローワーク)が設けられ、参加した大学四年生・短期大学部二年生は熱心に話を聞いていました。また、企業の方からは、真面目で素直な学生が多いとの評価を頂きました。これを機会に、就職内定獲得に向けて諦めず頑張りましょう。



企業担当者の説明に聞き入る学生

平成二十七年 秋の叙勲受章者

十一月三日付で平成二十七年秋の叙勲受章者が発表され、本学園関係者より下記の先生が受章の栄に浴されました。教職員一同心よりお祝い申し上げます。

瑞宝中綬章(教育研究功労)



永富 正之 先生

元 聖徳大学大学院音楽文化研究科長・聖徳大学人文学部音楽文化学科長

人間栄養学部 臨地実習報告会



報告会の様子

九月十日(木)および十月十日(土)、人間栄養学部では臨地実習Ⅲ・Ⅳ(臨地栄養学分野)の報告会を実施しました。

人間栄養学部では、三年次に給食経営管理論分野、臨地栄養学分野、公衆栄養学分野の学外実習を行います。今回の「臨地実習Ⅲ・Ⅳ」では臨地栄養学分野として、八〜九月に二〜三週間、病院にて実習を行います。報告会には、実習を終えた三年生と、これから実習に参加する二年生が参加し、三年生が実習内容および実習で学んだことを発表しました。学生は、管理栄養士としての知識だけでなく、栄養管理計画書の作成や患者さんへの情報の伝え方、多職種の方と連携することの重要性などを学び、将来、管理栄養士になるための意識を高めることができたことと発表しました。発表の最後にはこれから実習に行く後輩に向けたアドバイスをあり、二年生は真剣に聞き入っていました。質疑応答の場では活発な議論が行われ、有意義な報告会となりました。

この実習を通じ、学生は今まで学んだことを実践活動の場で生かし、さらに幅広く深い学習を行うことができ、また一つ大きく成長したものと思います。

心理学科 第八回アメリカ西海岸研修旅行

九月六日(日)から十五日(火)にかけて行われた今年度の心理学科海外研修旅行は、これまでとは一味違うものでした。



ユニバーサルスタジオにて

出発前の事前研修では、心理学科の三つのコース(臨地・心理・家族心理・社会心理コース)それぞれにちなんだ研修となるよう、研修内容を講義目的を見直し、目標を明確に位置づけることから始めました。その上で、事前学習と発表会を行い、その成果をまとめました。出来上がった分厚い研修ノートとトランクに詰めて、三年生四十九名がアメリカ西海岸、サンフランシスコとロサンゼルスでの研修に出発しました。

最初の研修地サンフランシスコは、連日三十五度を超えるような猛暑でした。先輩たちからダウンジャケットが必要と言われたトレジャーアイランドでの夜景観光も半袖で過ごせるほど。やはり今年の海外研修は、いつもとは違うようでした。

今年度の研修では、姉妹校ミルズカレッジでの現地大学生との交流が組み込まれました。戸惑いながらも、米国の大学の専攻メジャー・マイナー制度や、自分たちにも身近な進路選択の現状などを聞き、米国の大学生の生活を肌で感じる事ができました。また、今年初めて訪問した青年センターでは、心理士の山田レイ先生



ミルズカレッジでの学生との交流

から米国の児童福祉制度とその現状について講義を受け、米国社会が虐待や非行から子どもたちをどう支えているのか、深く関心を持つことができました。

一方、ミルズカレッジの社会心理学教授デイン・モリエ先生の講義(今年のテーマは、「福島被爆者に対する偏見(ステイグマ)」でした)や、家族療法発祥の地MRI(精神研究所)でのボーディン博士の家族療法についての講義では、通訳を通しての授業に焦ってしまい、質問する前に時間が終わってしまいう一幕もありました。

これまでとはひと味違ったパワフルな米国研修は、全米日系人博

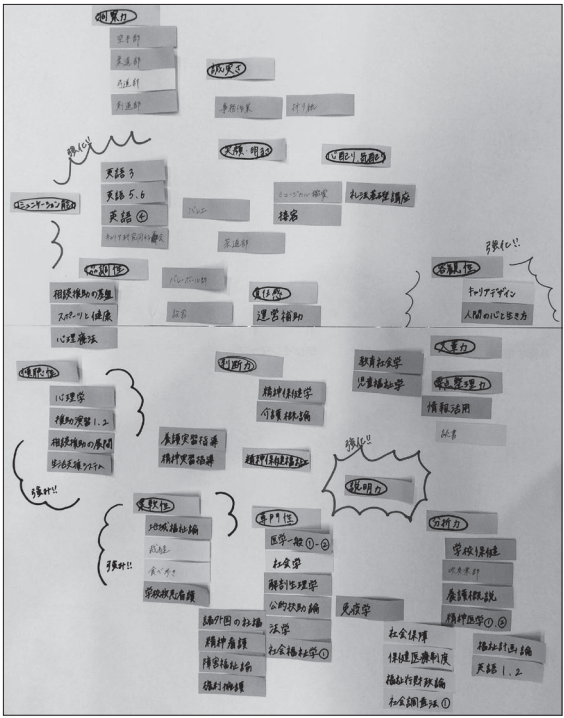
聖徳ラーニングデザインセンターだより

学びとキャリアのデザインマップ 作成ワークショップ

聖徳ラーニングデザインセンターでは、現在、「学びとキャリアのデザインマップ作成ワークショップ」の開催に向け、準備を進めています。

学生の目指すキャリアに必要とされる能力と、自身

から学ぶことを付箋に書き出していき、関連しているもの同士をグルーピングして一つのマップを作り上げるワークショップを、学生同士で話し合いながら進めます。このワークを通して、個々の学びがどのよう



学生が作成したデザインマップ

り、目指すキャリアの実現に向けて、今、強化するべき力は何かを見つめたりと自身の学びを見つめ直すことができます。

八月二十一日(金)には、学生モニター三名の参加のもと、浅岡凜講師によってワークショップが試行的に実施されました。参加した学生モニターからは「何

ろくなく受けている授業も未来に繋がっていると気づき、今まで自分がやってきたことも意味があるのだと感じた」身につけていくべき力を改めて考えることができた」といった声が聞かれました。今後、ワークショップをさらに改良し、本格的に実施していきます。

かなの美への誘い -古筆を楽しむために-

中国・朝鮮半島を経て日本に伝えられた文字、「漢字」。日本人は、その漢字を日本の言葉に当て、一字一音の表音文字として表記するようになりました。時を経て、文字の形はもとの形からは想像がつかない程に省略されたスタイルになり、「かな」は生まれたのです。

今回は、「かな」が生まれてきた歴史を辿ると共に11~12世紀に生まれた古筆の名品を通して、「かな」の基礎知識や用語など、鑑賞の手引きとなるお話をしたいと思います。古筆の名品を鑑賞し楽しみたい、臨書して学びたいという方々の一助になれば幸いです。



講演者 岩井 秀樹
聖徳大学文学部文学科教授

日時/平成27年12月12日(土) 13:00~14:30
会場/聖徳大学10号館14階
定員/70名(参加費無料・事前申込不要)
後援/松戸市教育委員会/市川市教育委員会/
柏市教育委員会/取手市教育委員会

お問い合わせ: 聖徳大学言語文化研究所(知財戦略課)
<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/event/>

研究所リレー連載

所長の伝言板 第31回

生涯学習研究所長



所長 長江 曜子

魅力的な企画と研究、花ざかり!

ある地域づくりに、産官学民のネットワーク力と研究を深めるための場が、松戸駅東口から歩いて十分の場所にある聖徳大学十号館生涯学習研究所です。

平成二十六年九月より、福留強前所長より引き継ぎ、第二代所長に就任いたしました長江曜子です。

聖徳大学生涯学習研究所は、全国に先駆けた生涯学習研究機関として、十七年前に開設されました。昨年より、「地域連携力」を高めるために、川並弘純学長をトップに、増井三夫副学長を「生涯学習社会貢献センター長」として、その下に聖徳大学オーブンアカデミー(SOA)と生涯学習研究所が位置付けられることになりました。

子どもから大人まで生涯にわたって「学ぶ力」を育て、「生きる力」を強化し、活力

研究は現在、三つの柱で活動しています。ひとつは地域連携研究の実践として、「アートパーク」社会教育フォーラム「ジュニア夢カレッジ」といった各種イベント企画の開催。二つ目は少子高齢社会などに関する各種テーマ別研究会の実施。そして三つ目は、生涯学習研究紀要の発行です。

こうした活動を進めるために、学内では運営委員会、学外とは協力者会議(仮)というかたちで、ネットワークを構築して運営しています。今後とも生涯学習研究所に御協力、御支援をよろしくお願いいたします。

子どもから大人まで生涯にわたって「学ぶ力」を育て、「生きる力」を強化し、活力

平成二十七年度 第二期

八潮こども夢大学 in 聖徳大学

本学と八潮市との包括連携協定に基づいた「八潮こども夢大学」の第二期が実施され、八潮市の児童が、学生として二度にわたり本学を訪れました。

十月十日(土)の一回目は児童二十四名が参加。児童学部児童学科による体験授業が二コマ行われました。



スライム作りの様子

PVA洗濯のり・ホウ砂・水・絵の具を使って、スライム作りに挑戦。PVAなどの性質を学びながら、出来上がったスライムの独特な感触を楽しみました。櫻井教授より、「スライムに塩や酢を入れるとそれぞれどうなるか、続きは家で実験してみてください」と、楽しい「宿題」も出されました。

二コマ目は篠原孝子教授による「ミニ絵本を作ろう」。

ハロウィーン間近ということで、お化けや魔女を題材にした物語を考え、絵を描いたり折り紙を切り貼りして、B4の紙一枚から小さな絵本を作りました。最初にハロウィーンの由来を学んだ後、物語の主人公を決め、「起承転結」も考えるなど本格的です。



「ヤシオさん」を診察

を二班に分かれて実施しました。一方は、「フィジコ」の体験。この時「フィジコ」は「ヤシオさん」と改名され、児童たちはヤシオさんと会話しながら聴診器で診察。最初聴きにくかった音も、教員の指導でコツを掴み、聴き取れるようになりました。

もう一班は、「ラング」という人体上半身のモデルを用いて心肺の症状を聴診器で聴き分けます。また、自身の体や他の児童の体にも聴診器を当てて、真剣な表情で音を探っていました。

そして、本学自慢のシミュレーション室へ。さまざまな病状を発生して会話もできるロボット「動きや、バイタルデータ表示盤を見学しながら説明を受けました。最後に、久米美代子看護学部長からまとめが行われ、プログラムは終了しました。

どの体験も熱心に取り組んだ子どもたちは、満足した表情で教室を後にしました。また両日とも授業後は学食を体験し、キャンパスライフを存分に満喫できました。



カボチャを手に

ハロウィーン・パーティー

恒例となった語学教育センターのハロウィーン・パーティーは、今年で三年目を迎

えました。忙しいスケジュールをぬって多くの学生が訪れ、カボチャのくり抜きやパンキンパイを楽しみました。ランチタイムには、センターに入りきれないほどの人数が訪れ、たくさんの方の笑い声があふれました。仮装コンテストとカボチャコンテストは、パーティー後一週間ほど写真を張り出し、学生の投票で決まります。

このパーティーは、今

で語学教育センターを訪れることのなかった人たちがパーティーやコンテストの投票をきっかけにセンターを身近に感じてもらう、活用してもらうことを目的としています。そのため、「楽しく」英語を勉強してもらえよう、センターの教員自身が楽しんでパーティーに参加することが何より大切だと考えています。

十一月十四日(土)の二回目の参加児童は二十名。看護学部看護学科による「フィジカルアセスメントモデルを用いた体験授業」です。

オリエンテーションでは、榎本麻里教授から、看護の仕事について触れられた後、聴診器の使い方や、人体モデルを使い、教員による測定と観察のデモンストレーションが行われ、体験授業

「東京聖徳学園創立八十周年記念事業募金」寄付者芳名一覧

平成二十七年九月〜十月ご寄付分

ご協力ありがとうございます

Table listing donors and amounts under categories: 取引業者関係, 附属幼稚園関係, 教職員関係, 匿名希望者合計, etc.

ご存知ですか? 税制上の優遇措置が受けられます

東京聖徳学園へのご寄付は、特定公益増進法人に対する寄付として所得税法上の優遇措置(寄付金控除)を受け...

募金だより

具体的には、毎年二月から行われる確定申告での手続きが必要となります。勤務先などで実施される年末調整では、寄付金控除を受けることができませんので...

後援会支部総会・保護者会 活動報告

今年度の支部総会・保護者会が夏から秋にかけて各地で開催され、大学および短期大学の保護者の方に多数の出席をいただきました。



中山詩史さん

中山詩史さん(東北(南)支部、平成二十七年三月・児童学科幼稚園教員養成コース卒業)は公立保育士試験に合格し、現在故郷の山形県で勤務されています。

石澤奈生子さん(東北(北)支部、平成二十七年三月・人文学部心理学科卒業)は現在、青森県信用組合にお勤めです。高校までは人前で話すことが苦手だった自分が、寮生活やサークルの部長を務めた経験などを通して成長できたこと、キャリア支援課をフル活用して現在の就職先への内定を勝ち取った経緯などについてお話しいただきました。とりわけ、内定がなかなかもらえず焦った時のリフレッシュ方法、大学のキャリア教育の具体的な活用方法などについて、多くの就活生が抱える悩みとあわせて、保護者の方が熱心に聞き入る姿も見られました。

多くの人が、この後援会支部総会・保護者会を通じてご息女の進路を見つめ直し、よりよい結果に向けて力を注ぐことができるよう願っています。



石澤奈生子さん

SEITOKU COLUMN 変わらぬ風景がそこにある

松戸キャンパスの聖徳祭は、毎年十一月上旬の土曜日に行われます。その前日である金曜日は準備日としてすべての授業を休講とし、キャンパスは忙しく動きまわる学生たちの姿で溢れます。

「PACHI PACHI」というモニュメントが鎮座し、どっしりとその存在を主張しています。線香花火のはじける様子を表現したこの作品は、数多くの芸術作品を擁する聖徳学園においてもひととき目を引き、シンボルとして多くの在学生、卒業生に愛されています。



聖徳祭前日の「PACHI PACHI」

学校は、まるで生き物のようだと感じる時があります。人間の細胞は約六十兆個あり、数年ですべての細胞が代謝を終えて入れ替わりますが、その人がまったりの別人になるわけではありません。学校もまた、一定の周期で学生たちが入れ替わり、その場を構成する人間は数年でまったく変わってしまうのに、学校という場はいつでも私たちが迎え入れてくれる心の拠り所として、いつまでも存在し続けています。



聖徳祭当日の「PACHI PACHI」

聖徳祭当日、賑やかな人通りのなかで、「PACHI PACHI」は変わらずそこに屹立し、いつものように学生たちを見守っていました。千産千商のおいしいラーメンをいただきながら、いつもと違った表情を見せる松戸キャンパスの中で、それでも変わらぬ風景があることについて思いを馳せる一日となりました。(総務課広報渉外グループ / 板倉 拓)



聖徳大学陸上競技部 監督の部屋 ⑭

第二十二回 関東大学女子駅伝 第17位

全日本大学女子駅伝対校選手権大会の地区予選を兼ねた、第二十一回関東大学女子駅伝対校選手権が九月二十七日(日)、印西市の千葉ニュータウン周回コース(六区間、306キロ)で行われ、熱戦が繰り広げられました。

関係者の方々に壮行会をしていただき、十二位以内の目標を掲げて決意をもって挑みましたが、総合順位は昨年と同じ十七位と、芳しいものではありませんでした。しかし、六選手中、一年

生三選手がメンバー入りし、今後に繋がる収穫ある大会となりました。

目標達成には至りませんが、捲土重来を期し、今後も全日本出場を目標に日々精進していく所存です。相変わらずせぬご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

文末ながら、当日は雨の中にもかかわらず多くの方にご足労いただき、選手一人ひとりに熱いご声援をいただき心より感謝申し上げます。



1区 2区 3区 4区 5区 6区

詳細は聖徳大学HPにて掲載しています。

URLhttp://www4.hp-ez.com/hp/seitokuriku/page6

附属女子中学校・高等学校

第三十三回 聖徳祭を終えて

附属女子中学校・高等学校の第三十三回聖徳祭が、九月二十六日(土)、二十七日(日)に行われました。今回の聖徳祭のテーマは、「Shining Smile」笑顔の理由がここにあり〜」です。Shiningには「輝かしい」という意味だけでなく「目立つ・優れた」という意味があります。お客さまには輝かしい聖徳生の学習発表をはじめ、演技・演奏等を見て笑顔になっていただきたいということ、そして聖徳生には各団体やクラスが協力してそれぞれが笑顔で発表しようという思いを込めました。



初日は、中学生英語劇コンテストと普通科音楽コンクールを行い、在校生と保護者に公開し、二日目は多くの一般の方々が来場されました。二日間の総動員数は三千六百三十七名、昨年度比一〇八パーセントと盛り上がった今年の聖徳祭。高校三年生の企画であるグラウンドフィナーレでは、迫力のある学年合唱を披露しました。皆の心が一つになり、印象に残るものとなりました。

思い出に残る聖徳祭を行ったことは、生徒個人の力、聖徳祭実行委員の生徒、後援会評議員とボランティアの保護者の皆さま、さらに生徒とともに展示会場作成・準備に携わった教職員など多くの人の力が結集した成果だと思えます。

この聖徳祭に参加した一人ひとりの笑顔あふれる二日間になりました。

幼児教育専門学校

文化祭開催

(聖徳にこにこまつり)

十一月三日(火・祝)、幼児教育専門学校では、聖徳学園三田幼稚園との合同行事である「聖徳にこにこまつり」を開催いたしました。

前日から一年生が主体となって準備が進められ、学生役員を中心として校内の装飾や発表の準備を進めました。学生同士が連携しながら速やかに準備が行われ、普段の学校生活で培われたチームワークを発揮し、子どもたちが喜ぶ素敵な装飾が出来上がりました。

十一月三日(火・祝)、幼児教育専門学校では、聖徳学園三田幼稚園との合同行事である「聖徳にこにこまつり」を開催いたしました。

前日から一年生が主体となって準備が進められ、学生役員を中心として校内の装飾や発表の準備を進めました。学生同士が連携しながら速やかに準備が行われ、普段の学校生活で培われたチームワークを発揮し、子どもたちが喜ぶ素敵な装飾が出来上がりました。

「児童文化Ⅱ」の授業成果を発表する人形劇・紙芝居コーナー、「児童文化Ⅲ」の授業で製作した作品を展示するコーナーをあわせて「児童文化研究発表会」として開催し、授業で得た知識や技術を子どもたちに披露しました。多くの子どもたちの前で発表するとあって、学生は少し緊張した面持ちでしたが、普段できない経験を通して成長することができたと思います。

また、別会場のあそびコーナーでは、輪投げや玉入れなど、学生が企画を考案した準備を進めてきました。当日、子どもたちと笑顔で接する学生の姿はとも頼もしく、入学してから半年しか経っていないとは思えないほどでした。

「ハッピーホームカミング」では、文化祭に来場された卒業生の皆さんを迎え、近況をお聞きしました。現役の幼児教育者・保育者として、また母親としての活躍をお話しいただき、本校で学んだことが活かされているようでした。

また、「オープンキャンパス」では、外部の学校説明会などで話を聞いてくださった高校生の皆さんや社会人の方々をお迎えすることができました。専門学校のアットホームな雰囲気を感じていただけたことと思います。

当日は天候に恵まれ、昨年度の来場者数を大きく上回る千六百三十六名の方にご来場いただき、大盛況の中で終了することができました。この「聖徳にこにこまつり」を通して、学生たちは授業だけでは学べることができない貴重な経験を積むことができたものと思います。

平成二十七年度 体育祭を終えて

十月十一日(日)、本年度の体育祭はあいにくの雨となつてしまい、体育館での開催となりました。

体育館での実施は二〇〇五年度以来、ちょうど十年ぶりとなります。

前日の予行では開会式後、選手種目の一〇〇メートル競走、二〇〇メートル競走、色別対抗リレーを正式な形で実施し、翌日の得点に加えていくこととしました。

急な変更にもかかわらず、生徒の取り組みは真剣そのもの。教員も緊張感をもって運営に当たりました。

体育館での実施ではあるものの、次々と学年種目やダンス発表が行なわれ、体



前日実施の入場行進

育祭は大きな盛り上がりとともに進行しました。保護者の参観も大変多く、大きな拍手も生徒たちの励みになりました。

体育祭を十月開催に戻して四回目となる今年、久しぶりの体育館開催はいろいろな場面で準備不足や混乱もありましたが、全生徒・全教職員が一つになり大きな行事を終えることができました。

結果は紅組の優勝、応援合戦が青組勝利と大きなタイトルは分け合う形となりました。

附属女子中高同窓会

爽和会だより

手づくりアクセサリーを販売!

九月二十七日(日)に行われた附属女子中学校高等学校聖徳祭にて、爽和会活動として、恒例のフラワーアレンジメント・押し花体験講座を行いました。

講師の横田正子先生、佐藤寿子先生は本校卒業生(五期生)で、この講座を十四年間も続けてくださっています。毎年行われていることが周知され、楽しみにお待ちいただいている方が多い、大盛況の企画です。

今年さらには、爽和会室で同窓会写真展示、授乳・オムツ換えコーナー、手づくりアクセサリーの販売も行いました。

爽和会室は、卒業生が母校に遊びに来たときに集える場所というコンセプトのもと、食堂前一階の教室に設置されています。写真展示は今年の八月に行われた七期生・九期生合同同窓会の写真を中心に、先生方の写真を展示しました。



爽和会の活動も少しずつ活発になってきました。今後より充実した活動ができるように、さまざまな企画を催したいと考えています。



爽和会の活動も少しずつ活発になってきました。今後より充実した活動ができるように、さまざまな企画を催したいと考えています。

取手聖徳女子中学校・高等学校

第三十三回 聖徳祭

「百花繚乱」

咲き誇れ、私たちの青春

九月十九日(土)・二十日(日)、「百花繚乱」のテーマのもと、第三十三回聖徳祭が開催され、恵まれた天候のもと、千六百人を超えるお客様をお迎えしました。明和会(生徒会企画)の各種コンテストなども行われ、笑顔あふれる活気に満ちた聖徳祭となりました。生徒たちも日頃の活動の成果を十分に発表することができました。



準備期間中、台風十八号がもたらした大雨の影響で、常総市を中心に甚大な被害が発生し、本校でも被災した生徒がいました。そこで明和会と実行委員会では被災された方の力になりたいと考え、義捐金の協力を呼びかけ、募金活動を行いました。

北蓼科高原体験学習

九月三日(木)〜六日(日)、セミナーハウス「かすがの森」にて高校一年生の北蓼科高原体験学習が実施されました。



天候に恵まれた四日間、思う存分大自然の中での生活を満喫した体験学習となりました。高校一年生

九月三日(木)〜六日(日)としては今年二度目のかすがの森での生活でしたが、SFJ(SAITOKU Fresh men's camp)で入学後すぐに訪れた時とはまた違い、学校に慣れ親しんだ明るい空気が流れていたことが印象的でした。特に蓼科山の登山では、みんなで声を掛け合い、辛い山道ではありましたがほとんどの生徒が山頂まで登り切り、三百六十度の大パノラマを目にすることができました。この充実感と達成感、きつと生涯忘れられないものになったと思います。この四日間を感じ取ったこと、得たものをぜひ今後の学校生活に活かそうとみんなで誓い、体験学習を終えました。

附属小学校

附属小学校のアイドル モルモットに触ったよ!



附属小学校に本年度から新しくモルモット四匹が仲間入りしました。それぞれの名前は校内で募集し、「ららん」「ころね」「ルビー」「ナツ」と決まりました。小さくかわいらしい姿に、休み時間のケージ前は人だかりになりました。広報委員会の児童は「飼育新聞」を作成し、環境委員会の児童は毎日ケージの掃除を丁寧に行なっています。附属小学校にはもともと外の小動物舎にカメとチャボがいますが、モルモットは現在校内で飼育しているためか、より身近な存在となつていくようです。

取手聖徳女子中高同窓会 綿あめ販売、大盛況

昭和六十一年に発足した聖朋会は、取手聖徳女子高等学校を平成二十七年三月に卒業した三十期生を迎え、会員数は八千五百八十六名になりました。聖朋会の主な活動として、会報の発行や同窓会への助成、母校行事への参加などがあります。九月二十日(日)、晴天にも恵まれ、第三十三回取手聖徳女子中学校・高等学校の聖徳祭が行われました。聖朋会は生徒玄関前のテントにて、昨年好評だった綿あめの販売を行いました。定番の白ザラメ、ほんのりイチゴ味のピンクの綿あめ、まろやかメロン味の緑色の

綿あめ。会場周辺に甘くていい匂いが漂う中、小さな子どもから大人までたくさんの方に並んでいただき、終始大盛況に終わりました。聖朋会も三十周年を迎え、来年は三十周年記念総会を開催予定です。当日は楽しい会となるよう企画を進めてまいります。これからも母校の支援と、会員同士の交流を深められるよう充実した活動をしていきたいと思ひます。

「和」の心で 一輪車凱旋パレード!



附属小学校では毎年、附属幼稚園、附属第二幼稚園を卒園した児童が、それぞれの幼稚園の大運動会のお昼休みに一輪車パレードを披露しています。今年も附属幼稚園で二十四名、第二幼稚園で二十名の児童が日ごろの体育の授業や休み時間に取組んでいる一輪車の練習の成果を

十月二十六日(月)から二週間、主に一年生と二年生を対象として、校内ふれあい週間が行われました。ふれあい週間では、小動物が苦手な児童も触ることに挑戦。実際に触って、撫でたり抱っこしたりすることで、かわいらしく思う気持ちが大きくなるようです。附属小学校では今後もさまざまな生き物の飼育をし、来年度も新たな仲間を増やしていきたいと考えています。

発揮しました。たくさん遊んだ思い出の幼稚園で、お世話になった先生方に前に演技をする子ども達の様子は堂々としてどこか誇らしげで、「こんなにできるようになったんだよ、こんなこともできちゃうんだよ」と、まさに凱旋パレードのようでした。ついこの間まで幼稚園にいた一年生の中にも、もうすいすいと乗りこなす子や、今回のパレードへの参加をきっかけに上級生は難易度の高い技を披露するだけでなく、まだ一人で乗るのが不安な下級生の手を取り、声をかける様子が練習の時から見られるように、協力し合う「和」の心がこのようにところどころにも表れていました。

幼稚園短信

聖徳学園三田幼稚園 勤労感謝の日

三田幼稚園では、十一月二十三日の「勤労感謝の日」にちなみ、毎年学園内や身近な場所で働く方々に、プレゼントを渡すことで感謝の気持ちを伝えていきます。プレゼントは、防災防犯訓練でご指導いただいた三田消防署や三田警察署、田町駅や郵便局、銀行など、園生活で関わりのある場所へお届けします。消防車やパトカーに乗せてい

ただいたり、駅では車掌さんの仕事を教えていただいたりと、普段はできない体験ができる機会でもあります。学園内では、学園長先生をはじめ園長先生や幼稚園で働く方々などにプレゼントをします。子どもたちは、折り紙で装飾をしたカレンダーや小物入れ、ブックスタンドなどをクラスごとに協力して作ります。駅や銀行では見える所に飾っていただき、中には「今年は何んなプレゼントかな?」と楽しみにしてくださっている方も



カレンダーをプレゼント

子どもたちにとっても、身近で働く方々がどのような仕事をしているのかを理解するとともに、日頃の感謝の気持ちを言葉にする良機会でもあります。この経験を大切に、感謝の気持ちを言葉で伝えることができるよう、子どもたちを育てていきます。

聖徳学園八王子中央幼稚園
もちつき会を行いました



きねを手に「よいしょ、よいしょ」

毎年恒例のもちつき会は、子どもたちにとって楽しみのひとつです。もちつきを経験がない子どもは、餅ができるまでの過程に興味を持って積極的に参加します。園庭に置かれた臼を囲み、きねを振り

聖徳学園多摩中央幼稚園
楽しい参観日
「二期保育参観」

多摩中央幼稚園では、園児たちの幼稚園での様子や教育内容を知ってもらうために、年に三回の保育参観を行っています。子どもたちは参観が近づくと「今日はお母さん来る日？」と毎日確認し、心待ちにしています。参観が始まると、全園児でリズムあそびをした後、クラスごとに楽しい時間を過ごします。一学期は保護者の方と一緒に遊ぶ場面が多めでしたが、二学期になると園児が自分で考えたり、友達と一緒に遊びを進めていく場面が多くなります。特に年長組、年中組では数人のグループで活動する「グループ活動」が二学期よ

聖徳大学附属幼稚園
元気いっぱい！
みんなの運動会

下ろすタイミングで「よいしょ、よいしょ」と大きな声で応援したり、幹事のお母さまがきなこ餅やあんこ餅、いそべ餅などを作る様子を見学したり、中には両手できねを持つようになっている姿も見られます。

子どもたちはつきあがった餅を丸めたり、伸ばしたり、ちぎったりと、手のひらを粉で真っ白にしながらかき混ぜたりして、餅の感触を楽しんでいます。もちつきを満喫した後は、つき上がったお餅を給食でいただきます。「どのお餅が好き？」と聞くと「きなこが好き」「あんこのお餅」「海苔のお餅がいいな」と口々に答えます。お皿に並んだ餅を見て「あれ？このお餅、焼いてないよ」と不思議がる子もいます。

つきあがったお餅は柔らかくて食べやすい大きさに作ってあるため、好きなお餅をいくつもかわりする姿が見られます。今日ではほとんど見られなくなった「もちつき」を楽しみ体験できた一日となりました。

聖徳大学附属第一幼稚園
やじまいも掘り



親子で一緒にやじまい

「うんとこしょ どっこいしょ」
秋晴れの十月六日(火)、松戸市牧の原にある聖徳子ども農園で、さつまいも掘りを楽しみ園児の元気な声が響きました。満三歳児パンダ組、三歳児桜組、四歳児梅組が五月

り本格的に始まります。グループの友達の出席確認をしたり、自分の意見を伝えるながら活動する様子も、保護者の方に見ていただきます。二学期は行事の多い学期です。十一月の参観日まで、運動会、遠足、園外保育、バザーと経験する中で、園児たちは運動面はもちろん、

精神面でもとても大きな成長をします。家庭ではなかなか見ることのできない、自分の思いを友達に伝えたり、友達や先生の話の聞いていながら楽しく過ごしている様子を見ていただくことで、保護者の方にも園児の成長を感じていただけているようです。

園児もいましたが、遊戯や競技は小さな身体をいっばい動かして参加し、温かい拍手をいただきました。三歳児はさまざまな運動あそびを通じて、クラスでのまとまりが感じられるようになりまし。四歳児はみんななで気持ち一つにし、遊戯や競技に取り組むことができました。五歳児は友達と協力して、一人ひとり考えながらマスをゲームを行い達成感や満足感を得られたようです。リレーでは最後まで諦めず必死に走り抜く姿に、会場が大きな声援と拍手に包まれました。

プログラムは、園児はもちろん保護者・祖父・祖母・卒園生・未就園児が一体となって楽しめる構成になっており、全員が笑顔で参加できたことが最大の成果となりました。



ゴールめざしてラストスパート

にさつまいもの苗を植え、九月には四歳児が水やりを行いました。苗を植えるときは、土に触るのを嫌がる姿や、土の中から虫が出てくると、びつくりする姿も見られましたが、さつまいも掘りでは自分の手で大きなさつまいもを掘り出したことが最大の成果となりました。

「大きなおいもだよ」と嬉しそうにさつまいもを持ち上げていました。掘ったさつまいもは園に持ち帰り、後日、給食室でケーキやきんぴらなどに調理し、パーティーを開いて食べます。四歳児は保護者の方を幼稚園にお迎えし、さつまいも掘りの経験を生かした歌や、踊り、ペープサート劇などを披露し、親子でさつまいも料理を食べます。

苗を植え、水を与え、収穫し、食べる。作物を育て食することで、育て方や収穫の喜び、食する喜びを学びました。「おいしいね」と、友達同士顔を見合わせて食べる姿が多く見られ、自分たちで育てたさつまいもの味は、園児にとって格別だったようです。

聖徳大学附属成田幼稚園
「芸術の秋」にふれて
ピアノコンサート

附属成田幼稚園では、子育て支援の一環として「体験！発見！子どもと共に学ぶ無料公開講座」を年間十回行っています。

十月六日(火)、第七回目の子育て支援講座が行われました。聖徳大学短期大学部保育科の武藤純一先生、黒柳伸子先生を講師に迎え、「六十分間世界一周〜ピアノでつづる世界の名曲〜」をテーマに、連弾でピアノコンサートが始まりました。

コンサートは全十一曲で構成され、イギリスを演奏し、東に向かってフランス・スペイン・ドイツ・ロシア・

聖徳大学附属浦安幼稚園
ゴーストハント
IKSPIARIツアー

実りの秋、収穫した野菜にいたずらをするゴーストが現れます。これを退治するため、光の魔法を操るIKSPIARI Magicians(イクスピアリマジシャン)として、勇氣ある聖徳大学附属浦安幼稚園の五歳児松組園児たちが選ばれました。この勇者たちが、九月七日(月)に浦安市舞浜にあるIKSPIARI(イクスピアリ)で行われたゴーストハントツアーに参加。プレスレビューでは多くの報道関係者が来場し、園児たちの様子が新聞やホームページに掲載されました。

当日、園児たちは各自持参したハウインの仮装で準備万端！幼稚園バスに乗って出発しました。バスの中で、どんなおぼけが出るのか話をしていくうちに、IKSPIARI HALLOWEEN TOWNに到着。そこには、IKSPIARIの街の支配人と執事たちが待っていました。ゴーストハントのヒントや約束を確認し、ゴーストを探し合言葉「Let's play」のシチュエーションを上げてツアー開始！ドキドキワクワクしながら歩く園児たち。街中に隠れているゴーストをフラッシュ撮影し、「あそこにいる」「こっちにも」と大興奮です。



IKSPIARI HALLOWEEN TOWNにて

日本・ブラジル、そして最後はイギリスに戻り、世界一周した気分を味わうことができました。

十一曲は、激しい曲・悲しい曲・明るい曲・踊るような曲とさまざまなタイプで構成されています。子どもたちには、クラシック曲は少し難しかったようですが、普段、幼稚園の先生が弾くピアノとは違う音の迫力に驚いていました。最後は「威風堂々」の曲に合わせ、みんな元気いっぱい行進をしました。

忙しい子育ての最中にあっては、保護者の方々はクラシックコンサートに行く機会もなかなか持てないかと思いますが、今回の講座を通じ、短い時間ながら日常の喧騒を離れ「芸術の秋」を感じることができたのではないかと思います。



コンサート風景

平成28年度 入試日程

聖徳大学大学院通学課程 [共学/昼・夜開講] (博士後期課程)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes internal recommendation and general admission dates.

博士前期課程

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes internal recommendation and general admission dates.

専門職学位課程 (教職研究科)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes internal recommendation and general admission dates.

聖徳大学児童学部(女子)/心理・福祉学部(女子)/文学部(女子)/人間栄養学部(女子)/音楽学部(女子)/聖徳大学短期大学部(女子)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Lists various admission types and dates for the faculties listed.

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Lists various admission types and dates for the faculties listed.

聖徳大学看護学部(女子)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Lists various admission types and dates for the nursing faculty.

聖徳大学児童学部(女子)/心理・福祉学部(女子)/文学部(女子)/人間栄養学部(女子)/音楽学部(女子)編入学、聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Lists various admission types and dates for transfer and short-term university programs.

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) (前期・後期入試)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Lists various admission types and dates for the preschool education school.

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Lists admission details for the affiliated middle and high schools.

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Lists admission details for the affiliated school in Utsunomiya.

聖徳大学附属小学校(共学)

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Lists admission details for the affiliated elementary school.

学校説明会関係行事のご案内

※詳細につきましては、各校にお問い合わせください。

通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学)

●お問い合わせ: 047-365-1200(直通)

聖徳大学通信教育部 入学説明会のご案内

聖徳大学通信教育部では、大学院・大学・短期大学部すべてにおいて、入学説明会を開催しています。通信教育での学習の仕方や皆さんが疑問に思われることについて、直接お答えします。予約は不要です。ぜひ、ご都合の良い日程の説明会にご参加ください。

聖徳大学主催 入学説明会

Table with columns: 開催日, 開催地, 開催時間(予約不要), 開催場所. Lists dates and locations for the main admission explanation sessions.

平成28年 春期合同入学説明会

通信制大学院・大学・短大が、合同で入学説明会を開催します。各大学別に個別相談形式で行われますので、時間内でしたらいつでもご来場ください。 ※参加申込不要、入場無料

Table with columns: 開催日, 開催地, 開催時間(予約不要), 開催場所. Lists dates and locations for the spring joint admission explanation sessions.

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

学園広報紙聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。今後も内容の充実に向けてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)

聖徳フラッシュ 第81号 発行人/川並弘純 編集/総務課

この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。 15.12.1 re (17.0)

Table with columns: 開催日, 開催地, 開催時間(予約不要), 開催場所. Lists dates and locations for various events.

※お車でのご来場はご遠慮ください。 ※個別相談会は終了時間の30分前までに入室ください。 ※大学院博士後期課程をご希望の方は事前にお問い合わせください。 TEL.047-365-1200(月～金 8:30～17:30、土 8:30～15:00)

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)

●お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

オープンキャンパス 予約不要 ▶平成28年1月16日[土] 14:00～

夜のキャンパス見学ツアー 要予約 ▶12月8日[火] 18:30～ ▶平成28年1月19日[火] 18:30～

冬の保育専門学校フェア 予約不要 ▶平成28年1月24日[日] (サテライトキャンパス) 10:00～

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

●お問い合わせ: 0800-800-8442(入試広報室直通)

学校説明会 ▶12月6日[日] 13:30～(高校) ▶12月19日[土] 9:30～(中学) ▶平成28年1月9日[土] 9:30～(中学) 進学相談会(中高共通) ▶12月12日[土] 9:30～ ▶12月25日[金] 9:30～ ▶12月26日[土] 9:30～

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

●お問い合わせ: 0297-83-8111(代)

オープンスクール [入試対策編] ▶12月13日[日] 10:00～14:00 音楽講習会 ▶12月26日[土] 10:00～16:00

聖徳大学附属小学校(共学)

●お問い合わせ: 047-392-3111(代)

入試説明会 ▶12月12日[土] [皿期・編入対象] 10:00～ 学校説明会 ▶平成28年1月23日[土] [新入生・年中対象] 9:30～

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート かの森 http://www.kasuganomori.com/ ご予約・お問い合わせ 電話: 0267-52-2111

JR北陸新幹線の佐久平駅の周辺で毎年行われている佐久市の冬のイベント「佐久ブルーム」は、今年で3年目を迎えます。今年は「銀河」をテーマに、約20万球のLEDの電球で色とりどりに飾られます。開催期間は2015年11月1日～2016年1月11日までとなっています。この幻想的な空間をぜひ体験してみてください。

セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション 東京都港区虎ノ門 1-1-20

0120-525-126 般 13-300726 13-ユ-300913